

農業複合化で注目

専用ア タッチも 用途拡大ロードマスター 三陽機器

三陽機器(株)(寺前公平社長・岡山県浅口市里庄町)発売のフロントローダ「ロードマスター」の用途が、経営規模の拡大や複合経営の増加など、日本農業の変化を受けて、急速に多様化し始めている。北海道では収穫後の野菜を洗浄・選別する施設へ持ち込んだ際、トラックからの搬出に同機が自動するほか、群馬県のごんじやく産地や徳島県の人産産地では、収穫した野菜のトラック荷台への積み込みに利用されている。とくに、圃場と道路に高低差がある場合など、フロントローダのアームの長さ



寺前社長

フロントローダのタッチ
プメーカーとして知られ

る同社は、昭和41年にフ
ロントローダの製造を開
始して以来、昭和54年に
世界初の油圧による平行
昇降を一本レバーで可能
にしたニュードッキング
ローダ「ロードマスター」
を開発。56年には油圧着

脱システム採用の「ロー
ドマスターAD」を、60
年には電子制御タイプの
「ロードマスターIC」
を、また同年小型トラク
タ用の小型ローダ「ミニ
マスター」を、平成元年
にはマイコン制御タイプ
の「ロードマスターMC」
を開発、発売している。
ドッキングローダの用
途拡大に伴い、この間、
ローダの先端に装着する
高性能アタッチメントも
多数開発、ニーズに応え
ることで畜産・酪農分野
をはじめ、稲作、野菜作
果樹、施設園芸分野や林
業分野にまで普及の裾野
を広げている。

「平行上昇」「平行下
降」「スクイ」「ダンパ」
などの操作をはじめ、フ
ロートと複数の切りの
交換が容易に選択できる
のも魅力。複動油圧で掘
削・積荷の押さえ込み、
泥濘からの脱出、フロ
ードで集草・整地・除雪な
どが行える。また、操作
レバーを上下するだけで
先端アタッチメントが常
に平行昇降するので、荷
こぼれの少ない、安定し
た作業ができる。

フレコンの吊り上げにも

「平行上昇」「平行下
降」「スクイ」「ダンパ」
などの操作をはじめ、フ
ロートと複数の切りの
交換が容易に選択できる
のも魅力。複動油圧で掘
削・積荷の押さえ込み、
泥濘からの脱出、フロ
ードで集草・整地・除雪な
どが行える。また、操作
レバーを上下するだけで
先端アタッチメントが常
に平行昇降するので、荷
こぼれの少ない、安定し
た作業ができる。

こうした特徴から、堆
肥の切り返し、肥料袋の
積み込み、重量野菜の運
搬、狭い場所でのおがく

ずの移動や積み換えな
ど、これまでも広い範囲
に同機は活用されてきた
が、ここに来て、経営規
模の拡大や農産物生産の
多様化など日本農業に大
きな変化が現れるのに伴
い、その使用用途がさら
に急速に拡大している。
同社ではこうした現状
に対応して、「ロードマ
スター」をより広く、より
便利につかってもらおうと、現在、農家段階
で行われている多様な使
い方に焦点を当ててこれ
を発売、より高精度に高
効率に使用できる専用ア
タッチメントの開発も行
いながら、この用途多様
化に向けて動き出した流
れをバックアップし、促
進していく運動を始めて
いる。

